

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第十五話

「町内の金次郎像について」(要約文)

二宮金次郎の像は、かつて全国の小学校に見られたといいますが、年々減少しており、新冠町内においては新冠小学校と旧東川小学校にしかありません。今回は、町内にある金次郎像と、建立された時代背景について紹介します。

○新冠小学校の金次郎像

・建立年月日：昭和17年12月8日

・寄贈者：村田岩太 ・石質：大理石

・像の高さ：155cm ・台の高さ136cm

○旧東川小学校(現おうるの郷)の金次郎像

・建立年月日：不詳

・寄贈者：佐藤喜助 ・石質：大理石

・像の高さ：150cm ・台の高さ：90cm

いずれも戦前につくられたものと思われ、左足を前にして薪を背負い、本を読んでいる姿は全国共通の基本ポーズとなっていますが、顔の表情、薪の数、髪型、衣装、大きさなどに微妙な相違点があります。

北海道においては、戦時化となっていく時代にあわせて、金次郎の報徳精神を教育に取り入れるため、道内の各学校で像が建立されました。また、当時の学校には、「奉

安殿」という天皇皇后両陛下の写真や教育勅語の謄本をおさめた倉庫が設置されました。戦後、宮内省の奉安殿撤去の通達により、奉安殿は撤去されましたが、金次郎像についても軍国教育や修身教育の思想対象と捉えられ、一緒に取り壊された例が全国で多くあったといえます。

新冠には現在、学校に奉安殿は残っていませんが、金次郎像は残っています。永い間の風雪に耐えた金次郎像は、当時の時代背景を知る重要な資料であり、近代遺産としての価値も持つと思われるので、今後も大切に見守ってあげたいものです。

新冠小学校に今でも残る

「二宮金次郎像」



秋の全国交通安全運動(実施期間 9/21 ~ 9/30)

運動重点 ○子供と高齢者の安全な通行の確保
○高齢運転者の交通事故防止
○夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止
○全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用
○飲酒運転の根絶
静内警察署

火災・救急出動状況 () かつこ内は前年同期

区分	火災件数	救急件数	
7月	0件(0件)	31件(18件)	
元年1~7月	3件(0件)	190件(171件)	
交通事故発生状況 () かつこ内は前年同期			
区分	発生件数	死者	傷者
7月	0件(0件)	0人(0人)	0人(0人)
元年1~7月	3件(4件)	0人(0人)	3人(5人)

人の うごき

(令和元年7月末現在)

人口 5,520人 (前月比 - 3人)
男 2,706人 (前月比 - 2人)
女 2,814人 (前月比 - 1人)
世帯 2,770世帯 (前月比 0世帯)

町公式ホームページ

町公式フェイスブック

